AvePoint DocAve 6

製品カタログ

DOCAVE アーカイバ FOR SHAREPOINT

FOR MICROSOFT® SHAREPOINT® レコード管理

Microsoft® SharePoint® Server、SharePoint Online 環境内コンテンツのフレキシブルなアーカイブを実行します。レコード管理の強化、コンプライアンス順守環境の構成、コストの削減を可能にします。

ビジネス上の利点

レコード管理

保持ポリシーに従い、SharePoint とニュースフィードのコンテンツをアーカイブします。アーカイブ データは検索・閲覧・リストアがいつでも可能な状態に保たれるため、万が一アーカイブ済みデータが必要になった場合も、すぐに参照することが可能です。

法的監査対応

エクスポート ファイルの形式は、Autonomy 対応ファイル・EDRM XML ファイル・Concordance 対応形式ファイルから選択可能です。

パフォーマンス向上 & コスト削減

更新されなくなったコンテンツを SharePoint から取り除き、実際に使用されているファイルを最適な状態で編集・管理する情報環境を実現します。

使用されなくなったコンテンツを、クラウドなどのリーズナブルに利用できるストレージに移動・アーカイブすることにより、ストレージ コストを削減します。

ポリシー保守アクションの自動化

コンテンツを自動で保存・保持・削除し、コンテンツが作成されてから削除されるまでの全段階で、自社のポリシーに従ってコンテンツが管理される状態を保ちます。

DOCAVE アーカイバを利用してできること

SharePoint ストレージ コストを削減することにより、パフォーマンス向上とレコード・情報管理ポリシー コンプライアンス強化を同時に実現し、コンテンツ ライフサイクル管理を強化します。

カスタマイズ可能なルールに基づいて「期限切れ」と定義されたコンテンツを、SharePointの SQL サーバー データベースから外部の階層ストレージ メディアへ移動することが可能です。DocAve アーカイバを使用してアーカイブされたコンテンツは読み取り専用の不変形式で保管できるため、企業・組織のポリシーに準拠した SharePoint レコードの自動かつ一貫した管理が可能になります。

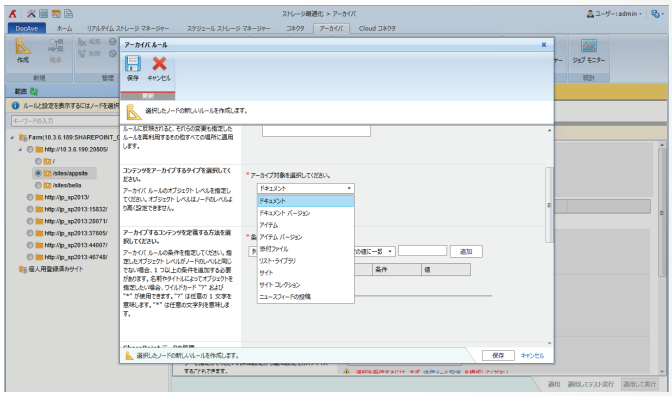
Microsoft Partner
Gold Application Development
Gold Cloud Platform
Gold Cloud Productivity
Gold Collaboration and Content

30日間無料評価版

www.AvePoint.co.jp

技術概要

- SharePoint Server 2016/2013、SharePoint Online コンテンツおよびニュースフィードへの投稿をアーカイブします。アーカイブに使用するプロパティはカスタマイズすることも可能です。アーカイブ ポリシーの実影響を検証するためのテストを実行することができます。
- サイト コレクションやサイト・リスト・ライブラリをはじめ、アイテム・ドキュメント・バージョン・添付ファイルニュースフィードの投稿のほか、メタデータやワークフローの状態・権限などをアーカイブの対象として設定可能です。
- ローカル環境・ネットワーク環境・クラウド ドライブをはじめ、Box・Dropbox・OneDrive などのファイルシステム、さらに Dell や EMC・Hitachi・IBM・NetApp for hierarchical storage management、その他高度なストレージ最適化を行うストレージ システムにおけるコンテンツのアーカイブにも対応しています。
- 情報管理ポリシーに基づいてコンプライアンスを徹底する保持ポリシーにより、コンテンツの保存および解決を実現するとともに、古くなったコンテンツをより安価なストレージ階層へと移動し、コストの削減を達成します。
- 変更不可能・読み取り専用の SharePoint アーカイブ コンテンツをフレキシブルに管理します。アーカイブ コンテンツは SharePoint のレコード ライブラリに移動し、SharePoint レコードとして宣言することも可能です。
- コンテンツが作成されてから削除されるまで継続的に内容をトラッキングするとともに、タグ付け・アーカイブ・一定期間後の削除などを自動実行し、コンテンツに対して自社のレコード管理ポリシーに準じた保持ポリシーを適用します。
- SharePoint からコンテンツをアーカイブ・消去する前に担当者がレビュー・承認を実行することにより、誤操作を防ぎます。
- アーカイブ済みコンテンツは「アーカイブ済み」、「アーカイブ実行者」、「アーカイブ実施日」などのカスタム メタデータ識別子を元にタグ付けし、検索の効率性を向上することができます。
- ライブラリやファイル サーバーにレポートを出力し、不要なコンテンツの確認をエンド ユーザー本人に実行してもらうことにより、各ファイルの必要性を的確に捉えた処理が可能になります。アーカイブ承認センターにレポートをインポートすることで、アーカイブ処理をトリガーすることが可能です。
- エンドユーザー アーカイバ機能を使用することで、コンテンツ所有者による古いコンテンツの定義およびアーカイブが可能になります。また DocAve Governance Automation と組み合わせて使用することにより、コンテンツのライフ サイクルが終了した段階で、IT 管理者に通知するサービス要求を送信することも可能です。
- SharePoint コンテンツ、またはアーカイブしたコンテンツやニュースフィードの投稿を LexisNexis Concordance® や Autonomy Connector for SharePoint®、VERS Encapsulated Objects、EDRM 互換のファイル形式でエクスポートすることで、監査要求に万全の対応を実行します。
- アーカイブ済みコンテンツを対象とした全文検索やリストアなどをいつでも実行できます。



定義可能な完全カスタム可能なビジネス ルールにより、非アクティブ・期限切れのコンテンツに対するアーカイブ・修復を実行します。

本リリースで新たに追加される機能の一覧については、DocAve 6.8 リリース ノート をご参照ください。

DocAve に関するお問い合わせ

電話: (03) - 6853 - 6300
E-mail: SalesJP@AvePoint.com

AvePoint Japan 株式会社
〒 108-0074
東京都港区高輪 4-10-18
京急第一ビル 11F

その他詳細につきましては www.avepoint.co.jp をご覧ください。
アブポイントジャパン ブログ www.avepoint.co.jp/community/ をご覧ください。
その他ご希望の方はお問い合わせください。

© AvePoint, Inc. All rights reserved. DocAve、AvePoint および AvePoint のロゴは、AvePoint, Inc.の商標です。その他記載の商標および登録商標は、それぞれの会社の商標または登録商標です。

V: 02082017_JP_02